

平成 28 年度前後期 在宅ケアマインド養成の進捗状況（必修科目）

学年	科目名	強化の実績
一年次前期	看護学原論	「個人にとっての家族」「看護の対象としての家族」「看護の対象としての地域」、「個人が在宅・地域で暮らす意義」についての講義を追加した。
	健康生活援助論	在宅での環境整備の必要性や自立度や生活環境や介護度に見合った排泄行動をサポートする必要性・方法について説明し、患者・介護者役を体験させた。
	看護早期体験実習	昨年同様に外来を受診する患者は、入院中の患者とは異なり、在宅で療養中の患者であることを認識し、コミュニケーションにより在宅（地域）での生活の状況を学ぶことも説明した。
一年次後期	生涯人間発達学	認知症高齢者は失敗だらけの毎日で、家族に迷惑を抱えながらも精一杯努力して生活している様子を DVD 映像で解説した。1 年生でありながらも学生達は、地域で生活することを支援することへの重要性が理解できた。小児の「育ち」において、親子の愛着や環境が果たす役割の重要性の学習を強化した。
	看護学方法論演習 I	看護過程の指導においては、生活者としての視点や対象者の強みなどが生かされるように配慮した。また、バイタルサインの授業では、対象者の状況に応じて測定器具が選択されていることを説明した。
	生活援助技術実習 I	対象者が在宅で利用できるケア（清拭、洗髪）について、学生がイメージ・活用できるように説明・指導を実施した。
二年次前期	生活援助技術実習 II	昨年度と同様に、在宅における感染予防対策や、酸素療法・吸入・吸引も在宅でしばしば実施されるケアであることを説明した。
	看護学方法論演習 II	昨年度と同様ヘルスアセスメント、フィジカルアセスメントにおいて、その活用場として、医師が不在である在宅においては重要であることを説明した。
	基礎看護学実習	対象者を生活者の視点で捉えること、入院前や退院後の生活を考慮して実習をすることの必要性を強調した。また、実際の受け持ち患者の入院前や退院後の生活を見据えた看護を考慮するように指導をした。
	成人・老年看護学総論	成人：成人各期の生活者をイメージできるような、発達課題と照らし合わせ家庭生活、職場環境と健康問題を取り上げ、各論につながるようにした。 老年：在宅生活を支える介護保険制度や具体的な居宅サービス、調整について、専門の DVD や実際住民に配布するサービス資料を配布し、説明を行なった。
	精神看護学総論	精神障害者の実際の生活場面に即して、映像資料などを活用し、就労支援の現状や利用できるサービスの説明を行った。
	母子看護学総論	従来の小児保健の分野に加えて、地域・学校保健等に関する内容を充実させ、新たな国の政策や制度について、随時追加し解説した。
二年次後期	地域看護学総論	昨年度に引き続き、ダウン症の療育支援を行った。前橋市で活躍している介護予防サポーターをゲスト講師に加えて、地域の高齢者の現状とサポーター活動による住民の相互支援の実際を学べるようにした。
	成人看護学方法論 I	事例や研究例、動画を用いて疾患や障害をもつ対象者・家族の生活をイメージしながら支援方法を検討できるようにした。
	成人看護学方法論 II	手術療法を受ける患者の、術式による器質・機能障害を理解し、退院後の生活への影響に対するアセスメントの重要性とともに障害による生活への影響について具体例を用いて教授した。
	老年看護学方法論	高齢者への日常生活ケアの方法や視点を教授する際、学生自身が自分の食生活状況や排泄への影響を重ねて考えられるようにした。学生は、高齢者への看護ケアを学ぶと共に自分自身の生活を振り返ることができた。
	母性看護学方法論	近年対象者が増加している「妊娠糖尿病」に関する自己管理について教授した。自己血糖測定・インスリン自己注射の実際のみならず、患者教育の視点からの教育プログラムを紹介した。
小児看護学方法論	「小児の在宅ケア」の単元においては、小児が治療を受けながら通園・通学している様子や、地域の NPO 法人の活動等を取り上げた。今年度の児童福祉法	

		の一部改正による連携体制構築の重要性について教授した。また、看護外来で活躍する小児看護 CNS による講義では、医療的ケアを受けながら在宅で生活する子どもと家族の交流プログラムへの取り組みが紹介された。
	地域看護学方法論 I	様々な健康レベルの対象の在宅での生活が具体的にイメージできるよう、教員や様々な機関に所属するゲスト講師が実践経験の中で出会った事例を基にした教材を使用した。
	地域看護学方法論 II	特に家庭訪問の展開方法では、対象のホームグラウンドである家庭の場で展開する看護の特徴、留意すべき事項、訪問マナーなど基本的な事項を、事例を豊富に活用し解説した。
	保健医療行政論	地域包括ケアシステム構築や、近年の医療・介護施策の変遷についてその意味するところを伝え、住民の生活の様子を長期に捉えながら、支援体制を構築する過程を、事例を通して解説した。
	在宅看護学総論	進行性疾患患者の退院指導の事例をもとにして、社会資源と家族ケアについて考える演習を行った。また、胃瘻造設について医学的側面、介護、心理的側面など多角的に検討する意思決定支援のディベートを行った。
三年次前期	看護管理学	病院は地域の医療を守るという重要な役割があるため、地域・在宅のニーズを踏まえた看護マネジメントが重要であることを強調した。あわせて、看護管理者として、人的資源という視点から地域との連携に着目できる看護師を育てる役割も重要であることを強調した。
	成人看護学方法論演習 I	近年の状況に合わせ入院期間を短縮し、退院調整が必要なペーパーペイシエントに変更し、退院支援と退院後の在宅での生活を考慮した看護過程を展開するよう教授した。
	成人看護学方法論演習 II	今年度は、自己血糖測定やストーマ管理など、在宅において患者自身が管理する必要がある技術に関しては、病院看護の視点だけではなく、在宅看護の視点を強化して説明した。
	老年看護学方法論演習	入院前の生活をイメージ化させて看護過程の展開を行った。①病院から施設に転所した対象が在宅への退院を目指すための視点、②在宅生活から施設に入所した対象が在宅と違った環境の中で生活し、在宅復帰していくために必要な看護の視点について、学生が考えられるように教授した。
	精神看護学方法論	在宅での精神障害者の生活がイメージできるように、群馬県精神障害者家族会連合会の会長にゲスト講師を依頼し、実際の生活の様子をお話ししてもらった。
	母性看護学方法論演習	病院での出産が大多数を占める現代の状況の中で、生理的な現象である妊娠・出産・育児における看護も病院の中で展開されるイメージを抱きがちであるため、「暮らし（生活）を見据えた」「生活者」などのキーワードを意識的に使用した。
	小児看護学方法論演習	在宅で生活している慢性疾患児等の様子の紹介については、昨年度とほぼ同様に実施した。看護過程事例展開においては、事例のその子らしさを捉え、成長発達を支援するためのアセスメントを意識できるよう取り組んだ。
	地域看護学方法論 III	特に精神・難病・感染症に関する保健福祉対策と保健師の活動に関して、健康課題を持ちながら地域で生活する人々のその人らしい生活をどう支えるか、様々な職種・機関との連携、地域での支援体制づくりも含めて、さらに多様で具体的な活動事例を用いながら教授した。
	地域看護学方法論演習 I	各活動形態別の計画から評価までの展開技術だけでなく、それらの活動を通じて、在宅で支援を必要とする人々のどのようなニーズに応えうる援助技術なのかを考えさせるように工夫した。
	在宅看護学方法論	病院と在宅生活への継続看護を教授するため、退院支援・指導の演習を強化した。本年度は、病院看護から訪問看護につなぐ退院時サマリーについての検討ができることを目標に文献検討演習を行い、退院時サマリーに必要な情報につ

		いての学習を深めた。
三年次後期	成人看護学実習Ⅰ	対象者の価値観や生活習慣をふまえた上で、退院後を見据えた支援のために必要な情報を収集する方法について具体的に教授した。また、より生活に即したセルフケア支援ができるような方法を教授した。
	成人看護学実習Ⅱ	術後早期から患者の器質・機能障害のアセスメントを行い、退院後の生活を見据えた看護支援を行うことの重要性を指導した。さらに事例カンファレンスを通して、なぜ重要なのかを共有した。
	老年看護学実習	学生は、老人センターやデイケアに通いながら生活をする高齢者と施設に入所している高齢者に対して、それぞれの暮らしを見据えた看護の必要性について理解し、退所を目指した看護ケアなど一部実践につなげられた。
	精神看護学実習	退院支援会議や退院前訪問指導など、入院中の患者を地域での生活者として捉えていく実習病棟での取り組みに、多くの学生が参加できるようにした。
	母性看護学実習	“疾患や現象ではなく、どういう人が子産み子育てをしようとしているのか” “生活を見据える＝対象者の価値観をふまえる”など、生活者としての対象理解を促す意識づけを強化した。
	小児看護学実習	ケースカンファレンスでは、「受持ち患児の退院を視野に入れた看護」をテーマにして討議を行った。
	在宅看護学実習	病院と訪問看護を「つなぐ」意識を強化するために、訪問看護師の話を積極的に聞くよう促したり、レポートを課したりした。
四年次	看護総合実習	学生カンファレンスや個人指導の際に、受け持ち患者の入院前の生活状況や退院後の生活について考えるように指導した。実習指導者からも上記の視点からの指導もあった。